⑦防災設備維持管理事業

危機管理対策室

事業の目的

災害による被害の軽減（減災）を図るため、地域防災計画に定める災害対策の実施に必要な備蓄品の調達配備、設備資機材の整備及び維持管理を進める。

《大磯町地域防災計画》

町民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、災害対策基本法に基づき町域に係る災害予防、災害応急対策等に関する事項を定め、地震、風水害等の災害に万全を期するための計画。

事業の主な内容

1. 防災備蓄品、資機材の整備

■アルファ米、ミルク、飲料水等購入と保管

■避難所用敷マット、間仕切り、簡易トイレ等購入と保管

2. 防災備蓄倉庫の維持管理

3. 防災行政無線・MCA無線の維持管理

■防災行政無線（子局59箇所から町内全域に音声放送）

■MCA無線（主要拠点54箇所に配備し、災害時等に情報の収集・伝達を迅速に行うための無線設備）

4. 防災指定井戸の管理

■災害時の生活用水（災害時に所有者の善意で地域の人に開放、29箇所の井戸を町が指定）

1．防災備蓄品、資機材の主な整備状況

平成26年7月1日現在

種別	品目名	数量
主食	アルファ米	14,200食
	飲料水	3,132本
寝具	毛布	4,315枚
日用雑貨	スプーン、紙コップ、紙皿、割り箸、哺乳瓶　など	25,923点
医療用品	救急箱、担架、簡易ベッド、車椅子　など	3,804点
応急対策資機材	発電機、給水袋、土のう袋、ブルーシート、メガホン、スコップ　など	5,899点
生活用資機材	簡易組立トイレ、テント、釜・鍋セット、カーペット、アルミブランケット　など	2,358点

2. 防災備蓄倉庫の維持管理

施設型	8箇所	大磯運動公園、東小磯防災館、 西小磯防災館、大磯小学校体育館脇、 大磯小学校体育館内、大磯中学校校庭南東、 大磯中学校用務員室、国府小学校体育館内
コンテナ型	7基	大磯高校、東町福祉館、長者町国道1号、 役場本庁、大磯小学校、国府小学校、 国府中学校

※災害時における物資の搬送

⇒大磯町地域防災計画に基づき産業観光課が実施

平成26年度予算概要

項目	予算額(千円)	内訳	金額(千円)
1. 防災備蓄品、資機材の整備	5，078		
		備蓄品購入	2，164
		毛布清掃圧縮	2，157
		備品購入	757
2. 防災備蓄倉庫の維持	2，043		
		倉庫借上げ	2，043
3. 防災行政無線・MCA無線の維持管理	11，167		
防災無線	6，704	保守点検	3，903
		修繕、電気、通信	2，801
MCA無線	4，463	機器借上げ	2，235
		通信、保守等	2，228
4. 防災指定井戸の管理	234		
		水質検査	234
5. その他	117	海抜表示板修繕	117
合　計	18，639		

いつ起こるかわからない災害に対する投資の仕方について考えられる問題点は？

1. 防災備蓄品、資機材の整備
   ⇒備蓄調達数の基準の設定（食料品等は保存期限あり）
2. 防災備蓄倉庫
   ⇒現状の備蓄倉庫を維持
3. 防災行政無線・MCA無線の維持管理
   ⇒防災行政無線は屋外ｽﾋﾟｰｶｰから音声で情報伝達
   他の伝達手段としては（■登録者にはメール配信 ■ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙｻｰﾋﾞｽ（0120-83-0150））
   ○その他緊急時は広報車、緊急速報メール、L字放送など複数手段を使用
   ⇒無線設備は定期的な保守点検が必要。また耐用年数により設備の更新が必要。
4. 防災指定井戸の管理
   ⇒定期的な水質検査を実施

事務事業評価シート

目標量を明確に

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標（指標名）		単位	平成24年度（実績値）	平成25年度（実績値）	平成26年度（見込み又は計画値）
対象指標（対象者数等）	備蓄目標量（主食）	食	3,700（※1）	8,800（※2）	
活動指標（活動量）	備蓄量（主食）	食	13,850	14,200	
成果指標（達成度等）	目標達成率	%	374.3	161.4	

（※1）・・・避難所収容可能人数のうち、町内の施設に限った人数×1食
（※2）・・・神奈川県西部地震の避難者数（970人）×3食×3日

今後の備蓄品調達の備蓄計画の方向性

◎　備蓄調達数の基準を設ける

■被害想定の避難者数

地震被害想定の避難者数⇒「神奈川県地震被害想定調査（H21.3）」

項目	避難者数	
東海地震	1,390人	
南関東地震	27,250人	←最も厳しい避難者数の想定
神縄・国府津-松田断層地震	20,350人	
神奈川県西部地震	970人	

■避難所の収容可能人数

避難所別に収容可能人員を算出している（3㎡/人）。

学校、地区会館、町施設全体（32施設：平塚市内含む）の収容可能人員の合計は、

4,248人　　≒5,000人

自助と公助に基づく備蓄の考え方

〇災害対策の全てを公助では対応しきれない。

〇自助・共助・公助それぞれが協調し努力することにより被害を最小限に抑えることが出来る。

〇食料や飲料水などの備蓄品の考え方も同様

自助⇒各家庭で最低3日分、できれば5日分の食料を備蓄

公助

⇒①避難所避難者の備蓄を確保（5,000人×3食）

⇒②災害発生時には協定に基づく流通備蓄を調達

（ヤオマサ、しまむら、たまや、クリエイトと協定締結済）

⇒今後も協定締結事業者を増やしていく！

近隣市町の食料備蓄目標の考え方

市町	概要	目標数量
平塚市	南関東地震の想定避難者数（209,860人）の1食分以上	209,860食
茅ヶ崎市	南関東地震の想定避難者数（71,000人）の2食×1日分	142,000食
伊勢原市	南関東地震の想定避難者（12,000人）の3食×3日－調達分8,000	100,000食
葉山町	南関東地震の想定避難者（5,300人）の3食3日分	48,000食
寒川町	南関東地震の想定避難者（31,100人）の3食1日分	94,000食
二宮町	南関東地震の想定避難者（25,160人）の3食3日分は（226,000食）であるが、各家庭の備蓄の徹底及び店舗との協定により現在備蓄量を維持	21,760食
大磯町	南関東地震の想定避難者（27,250人）の3食3日分は245,000食であるが、**各家庭の備蓄の徹底**及び**店舗との協定により補完**する。**避難所収容可能人数の約5,000人を対象としてその3食×1日分を備蓄目標。**	**15,000食**

※目標数量は、主食となるアルファ米またはサバイバルフーズを対象（備蓄数量とは異なる。）

事務事業評価シート

３．指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標（指標名）		単位	平成24年度（実績値）	平成25年度（実績値）	平成26年度（見込み又は計画値）
対象指標（対象者数等）	備蓄目標量（主食）	食	3,700（※1）	8,800（※2）	**15,000**
活動指標（活動量）	備蓄量（主食）	食	13,850	14,200	**14,200**
成果指標（達成度等）	目標達成率	%	374.3	161.4	**94.7**

（※1）・・・避難所収容可能人数のうち、町内の施設に限った人数×１食
（※2）・・・神奈川県西部地震の避難者数（970人）×3食×3日

大磯町における南関東地震の被害想定（抜粋）

項目		被害想定
建物被害	全壊数	6，900棟
	半壊数	2，800棟
火災	焼失棟数	2，110棟
人的被害	死者数	150人
	負傷者数	4，040人
避難者数	1日後	27，250人
	1か月後	23，660人
ライフライン	電力停電件数	25，030軒
	上水道断水世帯数	11，880世帯
	通信不通回線数	29，380回線

平成21年3月神奈川県地震被害想定調査から